

めぶき東アジアレポート

MEBUKI EAST ASIA REPORT

Shanghai / Hong Kong / Taiwan

2020年11月号

◇ 【 上海通信 】	中国の自動車販売動向	1
◇ 【 香港通信 】	香港向け日本産鶏卵輸出の拡大	3
◇ 【 ニューストピックス 】	2020年9～10月の動き	4
◇ 【 東アジア駐在員コラム 】	香港バレエ団	6
◇ 【 株式市場・為替情報 】		7
◇ 【 めぶきFGアジアネットワークのご紹介 】		8

常陽銀行上海駐在員事務所

上海市長寧区延安西路 2201 号
 上海国際貿易中心 1901 室
 TEL : +86-21-6209-0258
 E-mail : joyosh@uninet.org

足利銀行香港駐在員事務所

Suite 1601, 16/F, Tower 2 The Gateway
 Harbour City, Tsim Sha Tsui, Kowloon, HK
 TEL : +852-2251-9475
 E-mail : hongkongrep@ashikagabk.com.hk

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談くださいますようお願いいたします。

発行元：常陽銀行市場国際部



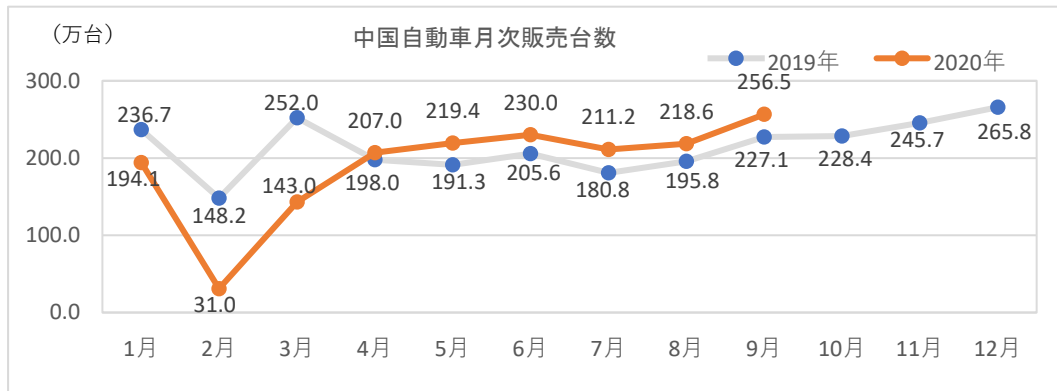
— 中国の自動車販売動向 —

中国は年間販売台数 2,500 万台を超える世界最大の自動車市場です。本年は新型コロナウイルスの感染拡大に伴って年初から販売が低迷していたものの、3月以降の急回復により中国経済V字回復の立役者となっています。今月は中国の自動車販売動向を紹介いたします。

1. 中国自動車販売の概況

中国の自動車販売台数は、2009年に米国を抜いて世界一となり、2019年時点の販売実績 2,575 万台（前年比 8.2%減）で世界全体の 1/4 以上を占めています。

中国では、一昨年から各種補助金の打ち切りや米中貿易摩擦による景気の先行き不透明感などを背景に、自動車販売台数は前年割れが続いていました。本年も新型コロナウイルスの感染拡大に伴って年初から販売が低迷したものの、3月に感染封込めが宣言された後、景気持直し感と地方政府による消費刺激策などを受けて急回復。4月以降は、6ヵ月連続で前年同月比プラスの伸びを記録するなど好調を維持しています。

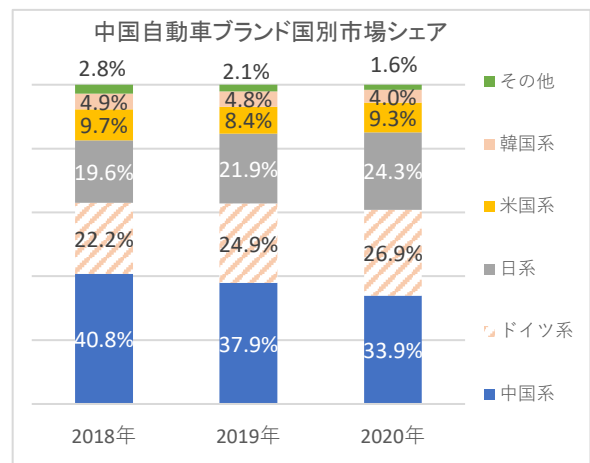


<出所：中国汽車工業会>

2. 日系完成車メーカーの状況

(1) 中国国内シェア

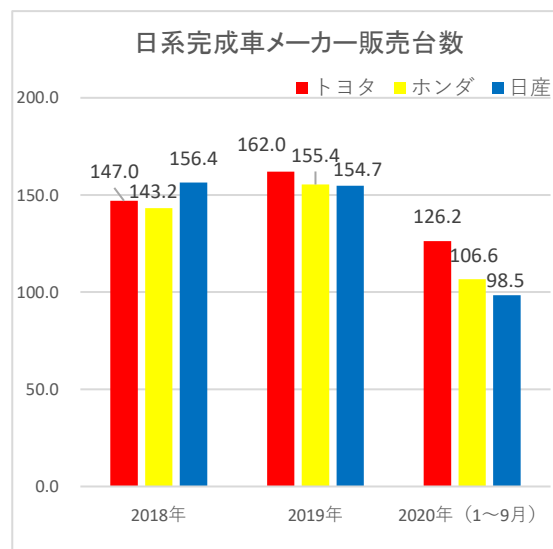
中国市場における日系完成車メーカーはここ数年で急速に販売を伸ばし、中国国内における国別シェアは2016年までの15%前後から直近では24.3%にまで拡大しています。その主な要因として、日本車の耐久性や燃費性能からくる中古車市場でのリセールバリュー（再販価格）の高さが挙げられ、新車登録から3年後の残価率ランキングでは、1位トヨタ、2位にホンダとなっています。



<出所：中国乗用車市場情報連席会>

(2) 販売動向

中国全体の自動車販売が急回復を見せるなか、足許では日系完成車メーカーも販売を伸ばしています。特にリセールバリューが高いとされるトヨタの9月新車販売台数は17万9千台（前年同月比25.3%増）と4月以降6ヵ月連続で前年同月比2桁増、新型コロナウイルスの影響がない前年実績を超える可能性も見えてきました。ホンダも同16万8千台（前年同月比22.3%増）と3ヵ月連続で前年同月比プラスを維持。また、日産についても同14万1千台（前年同月比5.1%増）と2ヵ月振りにプラスへ転換しています。



<出所：中国乗用車市場情報連席会>

3. 今後の課題

過去、中国では景気対策のため自動車メーカー（特に地場系メーカー）に対する実需を超える増産要請が度々見られました。一昨年から続いてきた自動車の販売不振も、過剰在庫の影響がその要因のひとつに指摘されています。足許の自動車市場の急回復も地方政府などによる様々な販売奨励策に拠るところが大きく、今後は特に地場系メーカーの在庫動向に注意が必要です。

4. まとめ

9月26日に開幕した北京モーターショーでは、世界中の自動車メーカーが近未来の車社会を予感させる新型車を多数展示し、中国市場を重要視する姿勢を強く認識させられました。中国は既に世界最大の自動車市場であるものの、自動車保有率は未だ2割程度に留まるなど高い潜在成長力を有しています。中国政府は2035年までに新車の半数を新エネルギー車（NEV）、残りをハイブリッド車（HV）にするとの報道があるなど、HV車に強みを持つ日系メーカーにとって大きな追い風になることが確実で、今後も更なる販売増加が期待されます。

米中貿易摩擦や世界中の新型コロナ蔓延により、グローバル経済の枠組が大きく変貌するなか、中国政府は「双循環」をキーワードに内需促進型経済成長戦略を打ち出しています。なかでも自動車産業はその裾野の広さから、半導体とともに技術革新・内需拡大の中心に位置付けられており、部材の中国国内調達力を向上させることが至上命題とされています。日系自動車部品製造業にとっても、将来的な販売増加が期待できる環境になるものと思われ、今後の動向が注目されます。

（常陽銀行上海駐在員事務所 首席駐在員 菊池賢司）

香 港 通 信

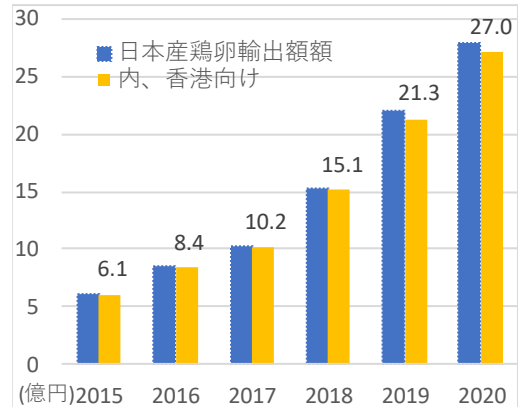
－ 香港向け日本産鶏卵輸出の拡大 －

今月は、新型コロナ禍により人々の生活形態が変化するなかで伸長を続ける日本産鶏卵の香港向け輸出状況などについて紹介いたします。

1. 香港向け日本産鶏卵輸出の推移

2015年以降の鶏卵輸出額は増加基調にあります。2020年には、1～8月の8ヶ月で2019年通年分を超える急激な拡大を見せており、特に97%を占める香港向けが大きく伸長しています。これは、2020年1月末から始まった新型コロナ感染拡大に伴い、厳格な外出制限が行われたことにより、家庭消費が拡大したためです。足許では感染状況の落ち着きから外出への人も戻りつつありますが、座席利用人数や営業時間などの規制が残っていることや、冬には再流行が警戒されていることから、鶏卵など生鮮食品の需要は今後も底堅く推移するものと考えられます。

【図表】日本産鶏卵輸出額推移



出所：貿易統計より香港駐在員事務所にて作成
※2020年は1～8月の8ヶ月分

2. 日本産のブランドイメージ

スーパーの卵売り場では、米国、韓国、シンガポール、タイ、中国、マレーシア産などの様々な国の商品が並んでいますが、日本産の卵が大きな割合を占めています。これは、日系スーパーだけでなく、香港系においても同様であり、日本産鶏卵の人気の窺えます。日本の卵が「安心・安全」というイメージが定着していると同時に、黄身が濃厚で味がしっかりしていると高く評価されており、当地輸入業者や日本国内の生産者への引き合いも強まっています。



<店頭に並ぶ茨城県産の鶏卵>

めぶきフィナンシャルグループでは、海外販路拡大支援を積極的に行っており、直近では東日本大震災以降中断していた茨城県産鶏卵の直接輸出再開をサポートいたしました。

(足利銀行香港駐在員事務所 駐在員 鈴木庸之)

ニューストピックス

○経済

- ・ 中国経済、来年前半に新型コロナ危機克服へ＝人民銀専門家（9/22）
- ・ 中国、雇用・賃金不安、中低所得層で拡大＝消費回復の重荷に（9/24）
- ・ 8月の香港輸出、2.3%減＝1～8月は5.8%減＝統計局（9/25）
- ・ 8月の小売売上高が過去最高＝飲食業も＝台湾（9/25）
- ・ 中国半導体最大手へ輸出制限＝米「軍事転用の恐れ」＝報道（9/28）
- ・ 中国指導部、次期5カ年計画の成長率目標引き下げ容認＝5中総会で＝ロイター（9/28）
- ・ 中国、8月の鉱工業企業利益、予想上回る伸び率（9/29）
- ・ 20年の中国成長率、2%に＝東アジアは低迷＝世銀見通し（9/29）
- ・ 香港、8月の小売売上高13%減、幅10ポイント縮小＝統計局（10/5）
- ・ 次期5カ年計画の成長率目標、指導部は重視せず＝中国紙が見通し（10/9）
- ・ 9月の台湾輸出、9.4%増＝ファーウェイ向け駆け込み出荷で＝財政省（10/9）
- ・ 9月の中国輸出9.9%増＝輸入も急増、内需回復裏付け（10/14）
- ・ 9月の中国新車販売12.8%増＝5カ月連続で2桁の伸び（10/14）
- ・ 香港、9月の民間住宅賃料、4カ月ぶり下落（10/16）
- ・ 中国、輸出管理法が成立＝ハイテク分野で対米けん制強化（10/19）
- ・ 中国、9月の対中直接投資、25.1%増＝商務省（10/19）
- ・ 中国GDP、4.9%増＝順調な回復裏付け＝7～9月期（10/19）
- ・ 今年の中国経済成長、プラス2%へ＝内需主導に自信＝中国人民銀総裁（10/20）
- ・ 香港、9月の破産申請778件＝4年ぶり高水準（10/20）
- ・ 9月の香港消費者物価、2.2%下落＝統計局（10/23）

○金融

- ・ 中国、4大都市の住宅ローン、中止の動き拡大＝不動産バブル再燃に警戒（9/24）
- ・ 中国、デペロッパー76社、1年以内の満期債務償還は39兆円（9/30）
- ・ 中国人民銀、金融緩和見直しへ＝デフインフレは警戒（9/30）
- ・ 香港、8月の住宅ローン承認額、前月比12.2%減（10/5）
- ・ 香港、物価連動債4年ぶり発行へ、最大150億香港ドル（10/6）
- ・ 9月末の中国外貨準備高、3兆1,426億ドル＝6カ月ぶり減少（10/9）
- ・ デジタル通貨、大規模実験へ＝市民5万人対象＝深セン（10/12）
- ・ 中国、1～9月の地方債新規発行、4兆元突破（10/20）
- ・ 中国人民銀の外貨買いポジション、8カ月連続で前月割れ（10/20）
- ・ 中国人民銀、最優遇貸出金利を据え置き＝6カ月連続（10/20）

○労務

- ・ 香港、法定産休を4週間延長、12月11日に施行（10/12）
- ・ 香港、7～9月の失業率、6.4%＝低迷続く＝統計局（10/16）

○社会

- ・ 2060年までにCO2実質ゼロ＝米中対立の中、協調アピール＝習主席（9/23）

- ・ 中国、外国人の入国規制、28日から緩和＝一部居留許可有効、ビザ不要に (9/25)
- ・ 香港ディズニーが営業再開、週5日で (9/28)
- ・ ドンキ香港4号店、中環で10月15日開業 (9/30)
- ・ 5G整備でファーウェイ制限へ＝独、事実上の排除か―新聞報道 (10/9)
- ・ 米、「アリペイ」制限も＝電子決済に安保懸念―報道 (10/9)
- ・ コロナ沈静化、6億人旅行＝中国の8連休 (10/9)
- ・ 香港の億万長者、14%減の65人＝中国は415人で過去最高―UBSなど調査 (10/9)
- ・ 中国、旅行者数8割まで回復＝国慶節8連休で (10/12)
- ・ 大連で水素、電気、化石燃料の総合供給所＝着工開始―中国で初めて (10/12)
- ・ ベルギー通信最大手、5G整備でファーウェイ除外＝既存通信網も切り替え (10/12)
- ・ 青島市、新型コロナで全市民対象のPCR検査を実施 (10/13)
- ・ 青島の病院で集団感染か＝入国者除き2カ月ぶり―新型コロナ (10/13)
- ・ コロナ不活化ワクチン候補、一般人の接種予約開始＝北京・武漢で (10/14)
- ・ 中国、1～9月の自然災害経済損失、3,135億元 (10/15)
- ・ 香港とシンガポール、往来再開で原則合意 (10/16)
- ・ 秋の広州交易会、開幕＝オンライン形式、2.6万社が出展―広東省 (10/16)
- ・ 高リスク地域にフランスとロシア、香港政府 (10/19)
- ・ 香港とシンガポールの観光往来「早ければ数週間後に開始」＝観光発展局幹部 (10/20)

○商業

- ・ 外国企業の取引制限で新制度＝対米けん制か (9/21)
- ・ 中国恒大、財務不安高まる＝資金引き揚げ検討も (10/16)

○製造

- ・ 8月の台湾製造業海外受注、13.6%増＝PCと半導体が急増―経済省 (9/22)
- ・ 中国に1.8兆円投資＝電気自動車事業で―独VW (9/29)
- ・ 9月の中国製造業PMI、51.5＝2カ月ぶり上昇、経済回復裏付け―国家統計局 (9/30)
- ・ 中国、自動車用半導体、自給率は10%弱＝デカップリングに不安 (10/12)
- ・ トヨタ、9月の中国新車販売は25.3%増＝6カ月連続増加 (10/12)
- ・ 日産自、9月の中国新車販売は5.1%増＝2カ月ぶりプラス (10/12)
- ・ ホンダ、9月の中国新車販売は22.3%増 (10/13)
- ・ 中国、半導体国産化ブーム、期待と現実のギャップ鮮明に＝プロジェクト中止相次ぐ (10/13)
- ・ 9月の中国乗用車販売、7.3%増＝3カ月連続プラス―業界団体 (10/13)

○運輸

- ・ ANA、JAL、成田―広州便を再開＝週1往復 (9/24)
- ・ 9月の香港空港、旅客97.9%減＝貨物4.4%減 (10/20)
- ・ 9月の香港旅客数、98%減の10万人＝観光発展局 (10/19)

<出所：時事速報・NNA>

東アジア駐在員コラム

—香港バレエ団—

1. 香港バレエ団

バレエ団と言えば、フランス（パリオペラ座）、ロシア（ボリショイ・マリインスキー）や英国（ロイヤル）などが有名ですが、香港にも創設 40 年以上の歴史を持つ香港バレエ団があります。

演目は、「白鳥の湖」「くるみ割り人形」などのクラシックなものからモダン、コンテンポラリーのほか、歴史や風習を題材とした独自の作品なども上演しています。その独創性は、演目や振り付けだけでなく、広告にも表現されています。香港の繁華街や高層ビルなどの街並みや有名な観光地を背景に、バレエダンサーがユニークな衣装を着てポーズを決めているポスターが、地下鉄の駅構内などに掲載されており、思わず足を止めてしまいます。

また、英国統治時代の歴史を持つ香港は、アジアと西洋の接点でもあり、近隣アジア諸国だけでなく、世界中から集結した国際色豊かなバレエ団員で構成されている点も特徴で、舞台監督やダンサーなど複数の日本人が活躍しています。



<香港バレエのポスター（公式 HP より）>

2. 「ドン・キホーテ」を鑑賞して

香港では、7月後半から新型コロナの第三波が到来し、厳格な行動規制がとられていましたが、足許で状況が落ち着きつつあり、舞台芸術などの文化行事も再開されたため、今シーズンの開幕公演である「ドン・キホーテ」を鑑賞することができました。

香港バレエならではの振り付けやダンサーの多彩な表情が楽しめ、出演者全員が生き生きと踊られ一体感のある素晴らしい公演でした。また、コミカルな演技で笑えるシーンも多く、コロナ禍で不安な日々が続く中、元気を貰え大変勇気づけられました。



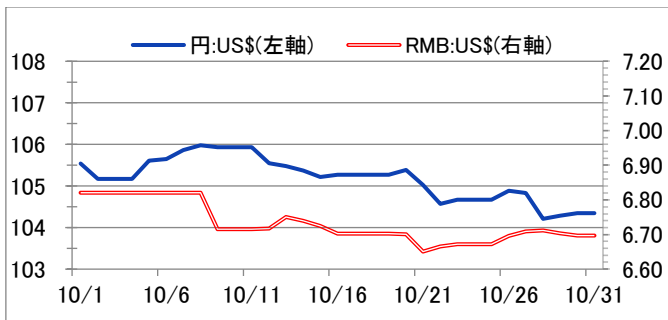
<ドン・キホーテ ポスター（筆者撮影）>

（足利銀行香港駐在員事務所 駐在員 鈴木庸之）

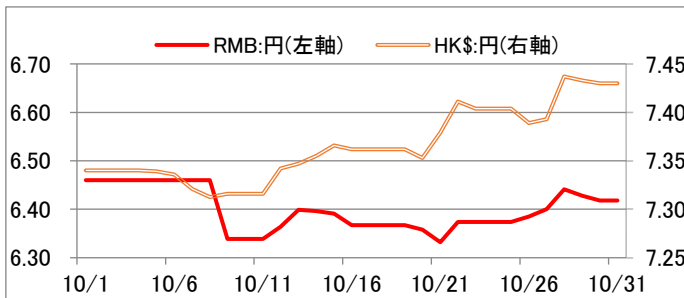
株式市場・為替情報

1. 為替市場

	月初	高値	安値	月末		月初	高値	安値	月末
円/米ドル	105.54	105.98	104.21	104.35	人民元/100円	6.4600	6.4600	6.3320	6.4180
人民元/米ドル	6.8206	6.8206	6.6507	6.6968	香港ドル/100円	7.3400	7.4370	7.3126	7.4300
香港ドル/米ドル	7.7500	7.7526	7.7497	7.7526	台湾ドル/円	0.2750	0.2759	0.2703	0.2738



出所：中国外貨管理局（人民元）および時事通信参考値（人民元以外）



【為替市場（10月）レビュー】

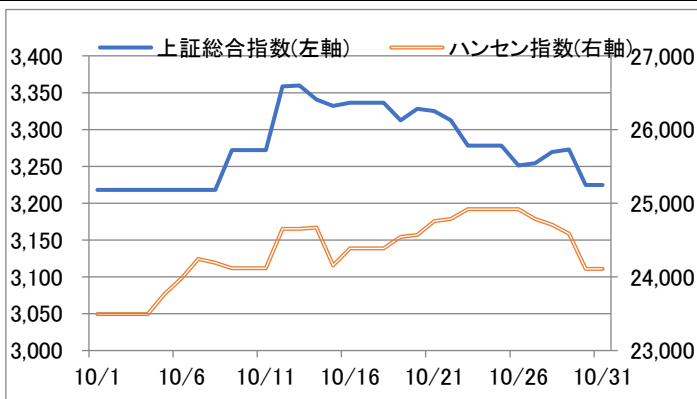
- ・中国経済の回復傾向が鮮明となり、国慶節明けから人民元高基調で推移、月中には一時19か月ぶりとなる高値を付けた。その後、月末にかけて高値警戒感もあり6.70円/米ドル前後に終始。

【為替市場（11月）見通し】

- ・米国大統領選挙の動向に注目。選挙後100日間は、米ドル高基調に進むことが一般的とされているが、郵便投票の開票遅れや選挙結果を巡る訴訟提起など政治的空白が長期化した場合には、大きく米ドル安に進む可能性も警戒されている。

2. 株式市場

	月初	高値	安値	月末
上海総合指数	3,218.05	3,359.75	3,218.05	3,224.53
香港ハンセン指数	23,494.60	24,918.78	23,494.60	24,107.42
台湾加権指数	12,515.61	12,955.91	12,515.61	12,546.34



出所：各証券取引所

【証券市場（10月）レビュー】

- ・第3四半期（7～9月）の中国GDPは、市場予想をやや下回る+4.9%であったものの、自動車販売など消費の持ち直しも鮮明になり堅調に推移した。

【証券市場（11月）見通し】

- ・1～9月の経済成長では主要国のなかで唯一プラスに転じるなど、中国経済の順調な回復を示している。当面は世界経済の牽引役として、中国株式市場も更なる上値を目指す展開が見込まれる。

めぶき FG アジアネットワークのご紹介

お客様の海外進出をサポートするため、様々な機関や外国銀行と業務提携を結び、支援体制の強化を進めています。

◎業務提携先一覧

提携先	常陽	足利	主な業務内容
中国銀行（中国）	●	●	中国国内情報の提供および各種金融サービスの提供
交通銀行（中国）	●		
中国信託商業銀行（台湾）	●		台湾情報の提供および各種金融サービスの提供
カシコン銀行（タイ）	●	●	タイ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バンコック銀行（タイ）	●		
バンクネガラインドネシア （インドネシア）	●		インドネシア国内情報の提供および各種金融サービスの提供
CIMB ニアガ銀行 （インドネシア）		●	
ヴィエティンバンク （ベトナム）	●		ベトナム国内情報の提供および各種金融サービスの提供
ベトコム銀行（ベトナム）	●	●	
ベトナム外国投資庁 （ベトナム）	●		ベトナム関連セミナーの開催協力 ベトナム進出に関する各種支援、投資関連情報の提供
BDO ユニバンク（フィリピン）	●		フィリピン国内情報の提供および各種金融サービスの提供
メトロポリタン銀行 （フィリピン）		●	
インドステイト銀行 （インド）	●	●	インド国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バナメックス（メキシコ）	●	●	メキシコ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
アグアスカリエンテス州政府ほか（メキシコ）	●	●	メキシコに関する現地市場調査 投資情報の提供
日本貿易振興機構（JETRO）	●	●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力機構（JICA）	●	●	途上国での海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力銀行（JBIC）	●		海外展開支援融資の提供
日本貿易保険（NEXI）	●	●	輸出取引を行う際の海外取引リスクに備える各種貿易保険の提供
中小企業基盤整備機構		●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
東京海上日動火災保険	●	●	海外リスク情報等の提供
損保ジャパン日本興亜	●	●	リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供
三井住友海上火災保険	●	●	各種損害保険の提供
セコム	●		海外での安全システム・防犯危機商品の提供
総合警備保障	●		海外セキュリティーサービスの提供

◎めぶき F G 海外駐在員事務所

常陽銀行シンガポール駐在員事務所	63 Market Street, #11-03 Bank of Singapore Centre Singapore 048942 TEL:+65-6225-6543
常陽銀行ハノイ駐在員事務所	5th Floor, Sun Red River, 23 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam TEL:+84-24-3218-1668
常陽銀行上海駐在員事務所	上海市延安西路 2201 号 上海国際貿易中心 1901 室 TEL:+86-21-6209-0258
常陽銀行ニューヨーク駐在員事務所	712 Fifth Avenue, 8th Floor, New York, NY 10019 TEL:+1-347-686-8420
足利銀行香港駐在員事務所	Suite 1601, 16th Floor, Tower 2, The Gateway, Harbour City, Kowloon, Hong Kong TEL:+852-2251-9475
足利銀行バンコク駐在員事務所	689, Bhiraj Tower at Emquartier, 27th Floor, Room No. 2714, Sukhumvit Road, Klongton-nue, Wattana, Bangkok, Thailand 10110 TEL:+66-2-261-2852

